

税理士のひとりごと

税理士の佐藤です。新しい自民党総裁が10月4日に誕生します。

FNNの世論調査によると、総裁選で議論して欲しい政策として「物価高対策や賃上げなどの経済政策」が39.5%、「年金や医療・福祉など社会保障」が25.2%となっています。

それをふまえ、ある候補は「5年間で平均賃金を100万円増やす」との経済政策を発表していますが「ちょっと待って！、勝手なこと言わないで・・・」と正直、多くの経営者は心の中で思っている事でしょう。



賃金を100万円増やす」との経済政策を発表していますが「ちょっと待って！、勝手なこと言わないで・・・」と正直、多くの経営者は心の中で思っている事でしょう。

最低賃金

皆さんもご存じの通り、10月より北海道の最低賃金が時給1,075円(6.4%増)となります。岸田前首相は「30年代半ばまでに1,500円」の最低賃金を目標としていましたが、石破首相は5年間ほど前倒しの「20年代に1,500円」を目指しています。なお、各党(野党)も同様の主張です。

さて、冷静に「時給1,500円」を考えてみましょう。2030年までに実現するとするとリミットはあと5年もありません。毎年、7%超の賃上げを実施しないと到達しないのです。

2024年時点での主要な経営者のお考えをご紹介します。あの著名な・・・経済同友会の新浪剛史代表幹事は「(1,500円を)払えない経営者は失格ということだ」と厳しく指摘しております。一方、中小企業が会員の大半を占める日本商工会議所の小林健会頭は

しかし、厚生労働省の公表(9/26)によると7月の名目賃金(現金支給額)の前年比が3.4%増加したのに対し、消費者物価指数はコメの高騰などにより3.6%増で実質的には財布の中身はマイナス0.2%だったようです。つまり、給料アップより物価上昇のスピードの方が早いです。

政治家は国民向けにポピュリズム(大衆迎合)政策を唱えれば(仮に実現を果たせなくても?)選挙に当選します。一方、私たち経営者は実際に賃上げが実行出来なければ社員さんの評価(退職等)の影響を受けます。

インフレ(物価高騰)に対応できなければ企業の存続が厳しくなりそうです・・・。

「最低賃金を引き上げていくという方向に異論はない」としつつ、「一番の問題になる(中小企業の)支払い能力を検討してほしい」と慎重な姿勢を示していました。

体力のある大企業は「バンバン」賃上げをして人材確保に邁進、中小企業は社員が離れないように「ヒーヒー」言いながら会社の体力を削っていくという感じでしょうか・・・。



経営破綻

ある経営者団体の札幌地区の総会だけは会計監査報告があるので渋々参加しております。ふと、ある一人の経営者の姿が見えないと感じ、調べたところ一年前に経営破綻していました。

原因は定かではありませんが、国際的なボランティアを目的とする社交団体の会長など多数の要職を兼務して多忙だったのは知っています。



個人的には気の合う人だったので残念であり、

かつご本人のみならず、ご家族(奥さん、お子さん)の人生も変わってしまったと心が痛んでいます。倒産は多くの悲劇を生み出します。

人生を背負う

さて、私自身も年を重ね、経営とは売上(利益)を上げるという表面的な事だけではなく、その裏側にある諸問題の大変さがわかるようになりました(この歳でようやく・・・笑)。

人(採用、退職、能力・やる気の個体差、人生)、もの(場所、事務所、工場、機械等)、金(資金調達、給与等の支払い等)を継続して維持し続けなければならないのです。

人だけでみても、それぞれに人生があります。結婚することも離婚することもあります。子供が生まれたら喜び、誰かが亡くなれば悲しみ、家庭や社内の問題で精神的に追い込まれ出社できない社員も出てきます。いずれにしても、経営者は採用した社員さんの人生の一部に責任を負う立場となり、なかなかの重責です。

平常心のコツ

「感受性が敏感になりすぎると、心が悪い方向に向かい、心の乱れが止まらなくなります」との前書きで「平常心のコツ(植西聰著、自由国民社)」は、はじまります。

経営者の本質は、日々数多くの悩みと戦う戦士です。そこで今回は本書の一部を皆様と共有します。



筆者によると「人は、物事が上手くいかない時、その原因が他人にある」と考える人がいます。一方、「自分が悪いから、物事がうまくいかない」とそれとは反対に考える人もいます。

前者は人のせいにする「わがままタイプ」、後者は「一見、謙遜タイプ」に見えますが自分を責めるので気持ちが落ち込みます。いずれにしても心が乱れます。「ものごとが上手くいかない」のを誰かのせいにするのは止めましょう・・・。

また、自分の気持ちや考えが上手く相手に伝わらない時、人はイライラします。筆者は「どうしてわかってくれないのか」と思うのも止めましょうと言っています。経営者がイライラするのは自身の健康にも、会社にも良い結果(影響)を与えないのは間違いないでしょう。

平常心を保つ秘訣は、あまり感受性を敏感にせず、たまには見て見ぬふり(鈍感でいる)をする事も大切です・・・。

Tomorrow is another day (明日は明日の風が吹く)

映画「風と共にさりぬ」の名セリフ

編集後記：

皆さんもご存じの「びっくりドンキー」のレギュラーバーグディッシュの200gが現在ちょうど1,000円です。最低賃金で考えると1時間働く値段で食べられます。最低賃金の上昇を考えると2030年には1,500円になっているかも知れません・・・。

このように、経営者には何かと比較する基準をつくっておいて、物価の上昇を肌で感じるの事も必要なのかも知れませんね・・・(寿)。